



## 【指数日足チャート】

### ▼ハンセン指数



### ▼上海総合指数



## 【主要株価指数】

※週間騰落率は過去5営業日の騰落率

	直近値	前日比	変化率 (%)	週間騰落率 (%)	年初来騰落率 (%)	16年末株価
NYダウ	21,858.32	14.31	0.07	-1.06	10.60	19,762.60
NASDAQ	6,256.56	39.68	0.64	-1.50	16.23	5,383.12
日経225	19,729.74	-8.97	-0.05	-1.50	3.22	19,114.37
上海総合	3,208.54	-53.21	-1.63	-1.64	3.38	3,103.64
滬深300 (CSI300)	3,647.35	-68.57	-1.85	-1.62	10.19	3,310.08
ハンセン	26,883.51	-560.49	-2.04	-2.46	22.19	22,000.56
H株	10,572.97	-209.23	-1.94	-3.91	12.54	9,394.87

## 【株式概況】

### 先週の動き:ハンセン指数は2.5%安と5週ぶりに反落、上海総合指数は1.6%安

香港市場ではハンセン指数が週間で2.5%安と5週ぶりに反落。週前半は堅調だったものの、週後半に北朝鮮を巡る軍事的緊張の高まりを受けて急落する展開となった。中国の弱い経済指標の発表で中国景気の先行き懸念が意識されたほか、米ドル安の一服を受けて資金流入期待も後退。11日には2週間ぶりに節目の27000ポイントを割り込んだ。本土市場では上海総合指数が週間で1.6%安と8週ぶりに反落。北朝鮮問題を巡る地政学リスクの高まりで週末にかけ急落。上海総合指数は11日に3200ポイント付近まで下落した。

### 今週の展望:香港市場は軟調な展開か、北朝鮮問題巡りリスク回避姿勢強まる公算

香港市場は軟調な展開か。北朝鮮と米国の軍事衝突への警戒感が高まる中、21日から米韓合同軍事演習の実施が予定されており、今週は全般にリスク回避姿勢が強まりそうだ。北朝鮮がさらなる挑発行為に出れば大幅な調整もあり得る。一方、企業の間接決算の発表が本格化する中、好業績銘柄への個別物色が相場の下支え要因として期待される。本土市場も北朝鮮を巡る地政学リスクの高まりを受けて軟調な展開が見込まれる。上海総合指数が3200ポイントを割り込めば、下げが加速する可能性もあり得る。

## 先週のハンセン騰落ランキング

### ▼値上がり

	直近終値 (HK\$)	騰落率 (%)
1 中国旺旺(00151)	5.52	6.77
2 ファイナモバイル(00941)	87.70	5.22
3 ワーフ(00004)	72.85	1.82
4 中国蒙牛乳業(02319)	15.60	1.56
5 太古A(00019)	79.90	1.40
6 恒安国際集団(01044)	61.55	1.15
7 電能実業(00006)	78.10	0.71
8 長江実業地産(01113)	68.05	0.37
9 CNOOC(00883)	8.73	0.34

10

### ▼値下がり

	直近終値 (HK\$)	騰落率 (%)
1 香港証券取引所(00388)	211.20	-7.21
2 中国工商银行(01398)	5.30	-5.86
3 招商局港口(00144)	23.85	-5.73
4 華潤置地(01109)	22.75	-5.60
5 中国人寿保険(02628)	23.55	-5.42
6 中国平安保険(02318)	56.00	-4.84
7 HSBC(00005)	74.75	-4.78
8 中国銀行(03988)	3.78	-4.30
9 交通銀行(03328)	5.65	-4.24
10 中国海外発展(00688)	25.30	-4.17

## ▼今週の主なイベント

- 8月16日(水) 【香港】ハンセン指数定期入れ替え発表
- 8月17日(木) 【香港】失業率(5-7月)
- 8月18日(金) 【中国】70都市不動産価格(7月)

### ▼今週の期待材料

- ◆香港の4-6月期GDP成長率は実質3.8%、17年の成長率見通しを従来予想から1ポイント上方修正
- ◆中国の7月の自動車販売台数が前年同月比6.2%増加の197万1200台、2カ月連続で前年実績を上回る
- ◆中国本土企業の決算好調、14日までに発表した469社の中間決算は28%増収、22%増益

### ▼今週の懸念材料

- ◆北朝鮮が米領グアム周辺への弾道ミサイル発射を検討、米朝の軍事衝突への警戒感が高まる
- ◆中国人民銀行が先週の公開市場操作で差し引き300億元を市場から吸収、吸収超過は2週連続
- ◆トランプ米大統領が通商法301条に基づく調査を準備、米中関係を巡っても緊張が高まる公算

## 【今週の材料銘柄】 ☆…ポジティブ ★…ネガティブ ◇…中立

- ☆ 吉利汽車(00175): 16日に6月中間決算を発表、市場予想は112%増益
- ☆ 裕元工業(00551): 6月中間決算は4%増益、1株当たり3.5HKドルの特別配当実施
- ☆ テンセント(00700): 16日に6月中間決算を発表、市場予想は46%増益
- ☆ チャイナ・ユニコム(00762): 6月中間決算は69%増益の見通し、コスト削減が寄与
- ☆ 華潤置地(01109): 7月の不動産販売額が27%増加、不動産販売面積は44%増
- ☆ サンズ・チャイナ(01928): 6月中間決算は23%増益、中間では3年ぶりの増益
- ◇ 華能新能源(00958): 7月の発電量が3%増加、1-7月は13%増
- ★ 越秀地産(00123): 7月の不動産販売額が21%減少、不動産販売面積は35%減
- ★ ハルビン電気(01133): 6月中間決算は減損損失の計上で4%減益
- ★ 富智康集団(02038): 6月中間決算は赤字転落、減損損失の計上響く

本レポートは、株式会社 DZH フィナンシャルリサーチ（以下、「DZH」と称します）により作成されたものです。

本レポートは、DZH が信頼できると判断した各種データ、公開情報に基づいて作成しておりますが、DZH はその正確性、完全性を保証するものではありません。

ここに示したすべての内容は、DZH で入手しえた資料に基づく現時点での判断を示しているに過ぎません。DZH は、本レポート中の情報を合理的な範囲で更新するようにはしておりますが、法令上の理由などにより、これができない場合があります。

本レポートは、お客様への情報提供のみを目的としたものであり、特定の金融商品の売買あるいは特定の金融商品取引の勧誘を目的としたものではありません。

また、本レポートによる情報提供は、投資等に関するアドバイスを含んでおりません。

本レポートにおいて言及されている投資やサービスは、個々のお客様の特定の投資目的、財務状況、もしくは要望を考慮したものではありませんので、個々のお客様に適切なものであるとは限りません。

本レポートで直接あるいは間接に取り上げられている金融商品は、株価の変動や、発行者の経営・財務状況の変化及びそれらに関する外部評価の変化、金利・為替の変動などにより投資元本を割り込むリスクがありますが、DZH は一切その責任を負いません。

DZH は、レポートを提供している証券会社との契約に基づき対価を得ております。

DZH およびグループ会社は、本レポートの論旨と一致しないレポートを発行している場合があります、また今後そのようなレポートを発行する場合があります。

DZH、グループ会社およびその役員は、本レポートに記載された金融商品について、ポジションを保有している場合があります。

本レポートでインターネットのアドレス等を記載している場合がありますが、DZH 自身のアドレスが記載されている場合を除き、ウェブサイト等の内容について DZH は一切責任を負いません。

本レポートの利用に際しては、お客様ご自身でリスク等についてご判断くださいますようお願い申し上げます。

<日本証券業協会自主規制規則「アナリスト・レポートの取扱い等に関する規則平 14.1.25」に基づく告知事項>

本レポートの作成者であるアナリストと対象会社との間に重大な利益相反関係はありません。